

近着石刻関係書所収元代石刻リスト7

森田 憲司

第9号に引き続き、近年に中国で刊行され、日本に入荷した石刻関係書のうちから、元代石刻の拓影や写真、あるいは録文を掲載するものを紹介する。なお、各石刻の名称は、筆者が拓影によって題額などから採録したものや独自に命名したものもあり、各書籍が石刻に附している名称とは同じではない場合が少なくない。碑刻の年代についても同じ。

紹興図書館館蔵地方碑拓選 兪苗榮他編 西泠印社出版社 2007年1月

近代までを対象とし、拓影、拓影の部分アップ、録文を掲載する。また、巻末に「紹興図書館館蔵地方碑拓存目」を付す。「存目」所収の元石刻は「火珠巷北市橋題名」（至元24年）のみ。

故崇玄処士王公（宗源）壙記 至大3年（1310）

重脩朱太守廟記 後至元5年（1339）

紹興路重建旌忠廟記 至正7年（1347）

紹興路総管府推官趙承務（叔遜）去思碑并序 至正8年（1348）

※成化6年（1470）重立

紹興路総管府推官貢承務（泰甫）去思碑并序 至正8年（1348）

※成化6年（1470）重立

北海橋題字（本書命名） 至正9年（1349）

紹興路新城記 至正13年（1353）

稽山吊橋碑（本書命名） 至正26年（1366）

北京大学図書館蔵徐国衛捐贈石刻拓本選編 上海人民出版社 2007年6月

拓影のみ

都水監勾当官先兄（趙文煒）墓誌 大徳元年（1297）葬

廬陵古碑録 高立人編 江西人民出版社 2007年12月

1949年までの石刻を対象とし、327編を載せるといふ。録文のみ。個々の石に石質、法量、所在地、採拓日時を注記する。各区、市、県ごとにわけ、さらに所在地で細分して掲載する。ただし、碑名は編者の命名によるものらしいが、多くは原碑に拠

と思われるものの、典拠が示されておらず、また、題の部分が元の状態で本文中に採録されていないのは、理解に苦しむ。さらに、「根拠文意予以大致分段」とあり、原石の改行とは一致していない可能性があるなど、石刻資料集として見ると問題がある。ただし、江南地区の地域単位の石刻資料集としては有用である。

以下、碑刻名は本書の命名のとおりとする。

先考蒲窓彭公宣義（因）地券 至元 16 年（1279）葬 吉州区吉安市博物館 10p
先君蘭畹居士（口槐）壙誌 至大 2 年（1309）葬 口廷哲 吉州区吉安市博物館 11p
廬陵横溪因果院記 撰者部分欠 後至元 6 年（1340）興橋鎮丁塘村 57p
先君彭成之（因）墓誌銘 至元 16 年（1279）男彭道淵 吉安県其他 128p
※10p の地券はこの墓誌銘の碑陰と注記する
先君曾公都事（叔驥）壙誌 至元 24 年（1287）男祿孫 吉安県其他 130p
故廬陵隱君敬齋彭公（昭祖）墓誌銘 大徳元年（1297）吉安県其他 131p
敬供先聖碑 大徳 10 年（1306）泰和県 225p
元故録事胡君（瑞）壙志 泰定 3（1326）孫鄧志高 峽江県 367p
先君谿山居士（黄世明）壙記 大徳 11 年（1307）男黄辰龍 新干県 385p
李氏夫人壙記 至正 10 年（1350）男謝文宝 新干県 386p

洪洞金石録 李国富他編 山西古籍出版社 2008 年 1 月

近代までを対象とし、拓影と録文（簡体字）、按語を付す。

また、附録として他県にある洪洞関係の石刻（拓影あり）、文献中の石刻逸文を掲載。

長春觀記 年代不明 下闕

寛公庵主（慧寛）託祭祖功德記 中統 2 年（1261）9 月

霍山広勝寺筠谿長老（法真）寿塔銘 至元 9 年（1272）4 月

苑川瀆泉龍祠砌造通記 至元 11 年（1274）6 月

重修媯皇廟碑 至元 14 年（1277）3 月

重修明応王廟之碑 至元 20 年（1283）11 月

※碑陰は録文のみで拓影なし

南霍渠成造三門下二神碑記 至元 20 年（1283）12 月

※写真を掲載、日付部分不明瞭のため録文による

尊勝陀羅尼神呪経幢 至元乙酉（22/1285）6 月

張端村女媯廟門墩（森田） 大徳 7 年（1303）6 月

大徳七年代祀中鎮記（森田） 大徳 7 年（1303）10 月

大徳八年代祀中鎮祭文（森田） 大徳 8 年（1304）2 月

至大元年皇太子代祀中鎮記（森田） 至大元年（1308）12 月

至大三年代祀中鎮記（森田） 至大 3 年（1311）7 月

※録文のみ、拓影なし

趙城県石明南里善利渠碑記 延祐5年(1318)5月

※拓本不鮮明

重修明応王殿之碑 延祐6年(1319)8月

※碑陰は録文のみ

特賜嘉号眷諭勅語 泰定4年(1327)4月

※右から、中統3年8月12日、中統3年2月20日、中統3年8月12日、中統4年3月24日の、靖応真人姜善信にかかわる聖旨を併記する。

立石の日付は、碑陰の「靖応真人行銘」(篆額、本文摩滅)による

長春観常住田土記 元統3年(1335)3月

独建東岳廟記 後至元3年(1337)5月

洪洞県上張村重建靈貺殿記 後至元4年(1338)4月

重修三教廟記 至正2年(1342)12月

至正四年代祀中鎮記(森田) 至正4年(1344)閏2月

李行省徳政碑 碑陽：篆額のみ残存本文は剥落

碑側：復立通利渠碑 至正5(1345)年6月

碑陰：通利渠関係の記事、大元戊申歳とあるので、至大元年(1308)以後か

※拓影なく、写真掲載

大元故御史中丞贈資政大夫中書右丞上護軍追封平陽郡公諡文靖徐公(毅)先塋墓石 至正10年(1350、根拠不明)

※本書は碑陰に世系ありとするが、録文、拓影なし、また、年代の根拠不明

元故御史中丞贈資政大夫中書右丞上護軍追封平陽郡公諡文靖徐公(毅)神道碑銘并序 至正10年(1350)2月

※拓影不鮮明なため録文による

社神之位 至正15年(1355、根拠不明)

※碑陰に施主の題名と金額、年代は本書によるが根拠は不明、次の石刻によるか
稷神之位 至正15年(1355)

※碑陰に施主の題名と金額

祭霍山広勝寺明応廟祈雨文 至正17年(1367)6月

重修通玄観碑記 己亥(太宗11年/1239)9月

※附録3、安沢県に現存

(もりた けんじ)